

PRESS RELEASE

2019. 1. 11
一般社団法人静岡県信用金庫協会

第49回県内12信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 御室 健一郎）は、平成17年10月以降、県内12信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,374社にアンケート調査を実施し、1,367社から得た回答（有効回答率99.5%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感DIは1年ぶりにプラス化」、プラス幅は調査開始以来の最高水準。

【概況】

平成30年10～12月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（平成30年7月～9月「以下同じ」）の▲1.0から6.1へと7.1ポイント改善し、1年ぶりに「良い」超のプラス化となった。

業種別にみると、サービス業（前回調査0.7→今回調査▲6.2）が悪化したものの、製造業、建設業、不動産業がプラス幅を拡大したほか、卸売業（▲13.8→▲0.6）、小売業（▲20.3→▲12.4）が改善となった。

これを地区別の業況DIでみると、西部地区ではプラス幅が拡大、中部地区がプラス化、東部地区がマイナス幅の縮小となり、各地区とも改善した（地区別の詳細は次頁のとおり）。

なお、各地区とも引き続き、人手不足感の深刻化、原材料費、仕入価格の高騰などを経営課題として掲げている。

県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2016年	2017年				2018年				2019年
	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3 (見通し)
東部地区	▲13.0	▲18.8	▲20.7	▲7.5	▲3.9	▲12.0	▲18.8	▲5.8	▲0.8	▲9.7
中部地区	0.6	▲10.4	▲2.7	4.4	6.7	▲6.3	▲2.3	▲1.3	8.9	5.9
西部地区	▲9.6	▲2.9	▲3.0	▲0.8	7.5	3.9	4.5	1.5	8.6	2.6
県内計	▲9.2	▲8.7	▲8.5	▲2.1	3.9	▲2.2	▲3.1	▲1.0	6.1	0.1

なお、平成31年1～3月の業況見通しは、西部、中部ではプラス幅の縮小、東部では悪化を見通しとしていることから、県全体では、0.1とプラス幅の縮小予想となっている。

■東部地区

東部では、サービス業が▲7.4 ポイント(▲7.4⇒▲14.8) 悪化したものの、製造業が 5.5 ポイント(15.7⇒21.2) とプラス幅を拡大したほか、卸売業が 3.2 ポイント(▲16.1⇒▲12.9)、小売業が 15.5 ポイント(▲29.8⇒▲14.3)、建設業が 3.5 ポイント(▲5.3⇒▲1.8) 改善され、不動産業が横ばいで推移したため、全業種 D I は前回調査時の▲5.8 から▲0.8 へと 5.0 ポイント改善される結果となった。

製造業

業況は、原材料価格の上昇や人件費の増加はみられるが、売上・受注が増加していることから、プラス幅が拡大した。

今後の見通し（平成 31 年 1～3 月期・以下同じ）としては、売上の減少などにより、悪化を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・電気自動車化への転換や中国市場の動向など不透明な点もあり、新規設備には慎重姿勢。
(自動車用検査治具製造業)
- ・スマートフォンの需要は減少傾向にあるものの有機 EL パネルの需要が伸びており、ガラスパネルの需要も増加傾向にある。
(スピンドルモーター製造業)
- ・人手不足に伴い、受注を抑制している。人手不足解消に向け、ハローワーク等に求人を出すも、人材が集まらないことから、外国人研修生の雇用も検討している。
(家電プレス板金加工業)
- ・後継者問題による廃業が、同業他社で目立つ。
(鉄金加工業)

卸売業

業況は、年末に向けて売上、収益ともに多少改善したことから、マイナス幅が縮小し、改善している。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇に加え、依然として同業者間の競争が激しいことなどから、売上の減少により、悪化を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・自然災害による作物の不良等で仕入価格が上昇し、売上減少した。
(米穀物卸売業)
- ・主要な取引先は地元ホテル、旅館であり、自然災害による観光客の減少の影響を受けた。
(魚介類卸売業)
- ・漁獲量の減少により、海外の水産物に頼ることを想定している。
(水産物卸売業)
- ・新東名高速道路や付帯工事の案件が進めば売上増加が期待できるが、一方で仕入値の上昇が懸念される。
(建設資材卸売業)
- ・中国向けの輸出が旺盛で、国内での故紙の確保が困難となっている。
(製紙原料卸売業)

小売業

業況は、依然として大型量販店や同業他社との競合等から厳しい状況が続いているものの、年末商戦等により売上・収益が増加したことから、業況 DI のマイナス幅は縮小し、改善した。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇が当面続くとみているため、悪化を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・大型店にはない顧客サービスの充実での差別化に取り組んでいく方針。
(電気製品小売業)
- ・キャッシュレス決済への対応、及び在庫管理を図るため、エアレジを導入したことから、今後、同設備を利用した顧客分析を徹底し、収益向上に繋げていく方針である。
(漬物・特産品小売業)
- ・イートインスペースも有しており、増税に伴う軽減税率に対応したレジの入替の検討が必要。
(コンビニ)
- ・今年は暖冬のため、冬物衣料が思ったよりも売れず、売上が減少した。
(婦人衣料品小売業)
- ・駅前商店街に活気が無く、更に衰退が進むものと思われる。
(食料品小売業)

サービス業

業況は、仕入価格の上昇により、マイナス幅は拡大し、悪化している。

今後の見通しとしては、人手不足や材料価格の上昇により、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・台風の影響により、予約のキャンセルが相次ぎ、売上が減少した。(旅館業)
- ・建設業界の価格競争の影響を受け、重機レンタルについても大手との価格競争を強いられている。(建設機材賃貸業)
- ・人材育成が課題であり、定期的な研修、マネージャーによる指導を実施しているが、期待通りに人材が育っておらず、外部講師を招くことを検討している。(清掃用品リース業)
- ・若年層の顧客獲得のため、SNS 等を活用している。(理容業)

建設業

業況は、人手不足や職人の高齢化など恒常的な問題を抱えているが、受注の増加などにより、改善している。
今後の見通しとしては、オリンピック関連の受注増加への期待感などから、プラス化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・監督職の定年により、管理者の人員確保が急務となっている。(総合建設業)
- ・人材不足により、下請けの確保も困難になってきている。(総合建設業)
- ・市内の賃貸物件も飽和状態に入り、今後は収益性の高い首都圏など県外への進出も検討している。(総合建設業)
- ・東京オリンピック後の対応が課題である。(型枠工事業)
- ・災害により復旧需要が増加したが、人手不足から対応に苦慮している。(造園業)

不動産業

業況は、前回調査時と比べ大きな変化は無く、横ばいで推移している。
今後の見通しとしては、消費税増税に伴う駆け込み需要の増加から、改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・不動産は動いており、市場も落ち込んではいないが、増税前の特需的な一面もある。(不動産売買業)
- ・同業者間の競争が激しいため、宣伝や提携先の確保を考えている。(不動産売買業)
- ・不動産フランチャイズに加盟して、最新の情報や営業手法を学んでいる。(不動産売買業・仲介業)
- ・空き家対策、業容拡大のための人員確保に注力している。(不動産売買業、仲介業)
- ・東部地区で地価が上昇しているが、増税やオリンピック後の価格推移が不透明。(不動産仲介業)

■中部地区

中部では、サービス業が▲9.1 ポイント (2.3⇒▲6.8) と悪化したものの、卸売業が23.0 ポイント (▲16.7⇒6.3) プラス化となったほか、小売業が10.3 ポイント (▲26.0⇒▲15.7) とマイナス幅の縮小、製造業が17.7 ポイント (2.8⇒20.5)、建設業が11.3 ポイント (21.3⇒32.6)、不動産業が2.1 ポイント (9.5⇒11.6) プラス幅を拡大したため、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲1.3 から 8.9 とプラス化となり、改善した。

製造業

業況は、人手不足に加え原材料価格が上昇したものの、売上の増加により、業況DIはプラス幅が大幅に拡大した。
今後の見通しとしては、原材料価格の上昇により、業況DIのプラス幅は縮小を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・売上、利益共に増加しており、堅調である。同業他社での廃業も多く、受注は増加傾向であるが、受注が春から夏に集中するため、前倒しでの受注を依頼し、平準化に努力している。(冷凍食品・飲料缶)
- ・オリンピック需要による企業の設備投資が増加傾向であり、受注は堅調に推移している。(冷暖房機器部品製造)
- ・業況は主要取引先からの安定した受注に支えられ堅調に推移しており、今後、設備投資の計画もあり受注の増加が見込まれる。(製茶業)
- ・売上は増加傾向にあるも、材料費の高騰により収益性は低下。受注増に対応する為に設備投資、人員増員が課題。(プラスチック製品製造)
- ・売上は増加傾向にあり、人手、設備不足が明らか。工場の新設を視野に入れている。従業員の教育を含めた人材育成も課題。(精密機械部品製造業)

- ・好調な取引先に引っ張られる形で好調を維持。しかし、材料価格の値上げ等も想定され、気を緩めることはできない。(精密部品製造業)

卸売業

業況は、仕入価格が上昇しているものの、売上の増加により業況DIはプラス化となり、大幅に改善した。

今後の見通しとしては、売上、収益の減少により、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・業況は順調に推移しているが、水産加工業全般に人手不足であり、どのようにして確保していくかが今後の課題である。(マグロ卸売り)
- ・取引拡大により売上は増加傾向。今後の事業拡大にも取り組む。消費税増税前に駆け込み需要により売上の増加予想。(建築資材)
- ・米中の貿易関係の悪化による影響により、半導体の価格が上昇し、当社の事業にも大きく影響を及ぼしている。(工業用生地卸)
- ・原油価格が高騰して、一時は販売先に転嫁することが難しくなる状況も懸念されたが、今は少しずつ落ち着きを取り戻している。(石油軽油等卸売業)

小売業

業況は、依然として仕入価格が上昇しているが、業況DIのマイナス幅は縮小となった。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇に加え、売上、収益の減少により、引続き業況DIはマイナス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・自然災害による仕入価格の高騰、また台風による停電の影響で売上が減少している。粗利率の改善ができていない状況にあるが、今般、受発注システムを導入し、適正な在庫管理を徹底することで利益率の改善に繋げていく。(スーパーマーケット)
- ・大型店の出店や米離れで売上は年々減少。北海道の地震の影響で一時、仕入に難をきたした。(米販売)
- ・大型店との差別化を図るために、アフターケアや顧客の訪問活動を行っており、価格以外の付加価値を提供している。(家電小売)
- ・台風・豪雨の影響で商品の納入が遅れ商機を逃し売上減少の原因のひとつとなった。(衣料品小売)

サービス業

業況は、材料価格の上昇や収益の減少により、業況DIは、マイナス化し悪化した。

今後の見通しとしては、材料価格の上昇や売上、収益の減少により、業況は引続きマイナス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・お年寄りの顧客が多いため、顧客は減少傾向にある。消費税増税となると更に業況が悪化するのではないかと不安をもっている。(理容店)
- ・人件費増加の影響があるが、受注金額への転化は難しい。(警備業)
- ・人手の確保が急務。人手が増えなければ売上確保が難しい。(美容室)
- ・人材の確保が難しくなっている。(人材派遣業)

建設業

業況は、材料価格の大幅な上昇はあるものの、売上、収益の増加により、業況DIのプラス幅は拡大した。

今後の見通しとしては、材料価格の上昇により、プラス幅の縮小を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・ガードマン不足が深刻で受注できないことがある。材料費は上昇し続けている。(水道工事業)
- ・大型受注を確保し今後の景況は良い。ただし東京オリンピック以降の受注については不透明である為、経費削減に鋭意努力している。外注費が高止まりし収益面改善が図れない。(土木・建築業)
- ・台風等による自然災害により住宅の修繕依頼の受注が増加しているが、材料の調達に時間が掛かっており工期が

他と重なり多忙な状況である。

(建築業)

- ・技術を持った職人が退職していく為、人材の確保をするべく、ポリテクセンター等を利用し、積極的に取り組んでいく。
(土木建築工事業)
- ・住宅ローン減税の拡充期待があり、消費増税に係る駆け込み需要はあまり期待できないと捉えている。

(一般住宅建築)

不動産業

業況は、販売価格の下落や在庫が不足しているものの、売上、収益の増加により、業況DIのプラス幅は拡大した。

今後の見通しとしては、売上の増加により、業況DIのプラス幅はさらに拡大すると見込んでいる。

(事業者の声)

- ・今期は前期より順調に商品土地の売却が進んでいる。
(土地開発・分譲販売)
- ・増税が確定したが、保有商品への問い合わせはいまひとつ。年内は検討し、年明けに動きが具体化すると見ている。
(商品不動産販売・仲介業)
- ・不動産物件が不足していることが課題となっている。
(不動産業)
- ・近年、県外から不動産業者が参入してきており、価格競争が厳しさを増している。元々不足がちであった土地案件が更に少なくなってきた。競合していくためには不動産の売買情報をいち早くつかむことが重要と思っている。
(不動産仲介)

■西部地区

西部では、小売業(▲7.2⇒▲8.4)、サービス業(8.2⇒4.3)が悪化したものの、卸売業(▲11.4⇒0.0)が改善したほか、製造業(4.5⇒13.1)、建設業(3.6⇒13.4)、不動産業(7.1⇒14.5)とプラス幅が大幅に拡大したため、全産業ベースの業況DIは前回調査時1.5から8.6へと7.1ポイント、プラス幅が拡大した。

製造業

業況は、売上・受注などの増加により、業況DIのプラス幅が拡大した。

今後の見通しとしては、売上、収益の悪化により、プラス幅の縮小を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・船外機部品の海外需要が好調である。
(二輪車)
- ・人手不足解消手段として給与額を増加させており収益を圧迫している。
(産業用洗浄機)
- ・台風被害による住宅修繕需要が増加した。
(建築用部材)

卸売業

業況は、売上、収益が増加したことから、改善した。

今後の見通しとしては、売上、収益の減少により、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・大手自動車メーカーからの需要は安定しており、業況は堅調に推移している。
(アルミニウム)
- ・ミカンの収穫時期に入っており、前年に比べ良い売上になりそうである。
(青果物)
- ・残暑・台風の影響による野菜の生産量の減少により価格が高騰している。
(農産物)
- ・人手不足が経営課題である。
(卸売業全般複数の声)

小売業

業況は、仕入価格の大幅な上昇から収益は減少しており、悪化している。

今後の見通しとしては、売上の減少により、業況の悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・台風による停電、店舗損壊の影響により商品損害等の影響がでた。
(小売業全般複数の声)
- ・セルフスタンドに顧客が流れてしまっている。
(ガソリンスタンド)

- ・店舗の老朽化が進んでおり、修繕が必要である。
- ・人気車種の新型販売により受注は増加している。

(食品)
(自動車)

サービス業

業況は、売上、収益とも増加しているものの、人手不足や同業者間の競争激化などから業況DIはプラス幅が縮小した。

今後の見通しとしては、売上や収益の減少により、業況DIのプラス幅は引き続き縮小を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・外国人宿泊客が増加している。
- ・大手チェーン店との競合が激しくなっている。
- ・台風等の自然災害により、売上の減少があった。

(宿泊)
(飲食)
(レジャー)

建設業

業況は、材料価格の上昇はあるものの、売上、受注などが増加し、業況DIはプラス幅が拡大した。

今後の見通しとしては、売上、受注が安定し、業況DIはプラス幅の拡大を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・台風の復旧需要により、売上・収益ともに増加した。
- ・民間工事を中心に業況は順調に推移している。
- ・リフォームの受注が増えている。
- ・人手不足・人材不足による事業活動への影響が大きい。

(総合建設)
(土木建設)
(住宅建築)
(建設全般)

不動産業

業況は、売上、収益の増加により、業況DIはプラス幅が拡大した。

今後の見通しとしては、売上、収益の減少により、業況DIのプラス幅縮小を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・消費税増税を前に相談件数は増加している。
- ・不動産価格が上昇傾向にある。
- ・所有物件の入居状況は堅調である。
- ・商品物件が不足している。

(不動産仲介)
(不動産販売)
(不動産賃貸)
(不動産販売)

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

1. 業況(全業種)

	今回調査(2018年10~12月期)						前回調査(2018年7~9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	3.3%	21.9%	48.8%	21.1%	5.0%	▲ 0.8	3.6%	21.4%	44.2%	24.7%	6.1%	▲ 5.8
中部地区	6.6%	22.6%	50.5%	16.1%	4.3%	8.9	6.6%	18.2%	49.0%	19.9%	6.3%	▲ 1.3
西部地区	4.4%	24.0%	51.8%	16.4%	3.4%	8.6	4.1%	20.8%	51.8%	19.5%	3.8%	1.5
県内合計	4.6%	23.1%	50.7%	17.6%	4.0%	6.1	4.5%	20.4%	49.2%	21.0%	4.9%	▲ 1.0

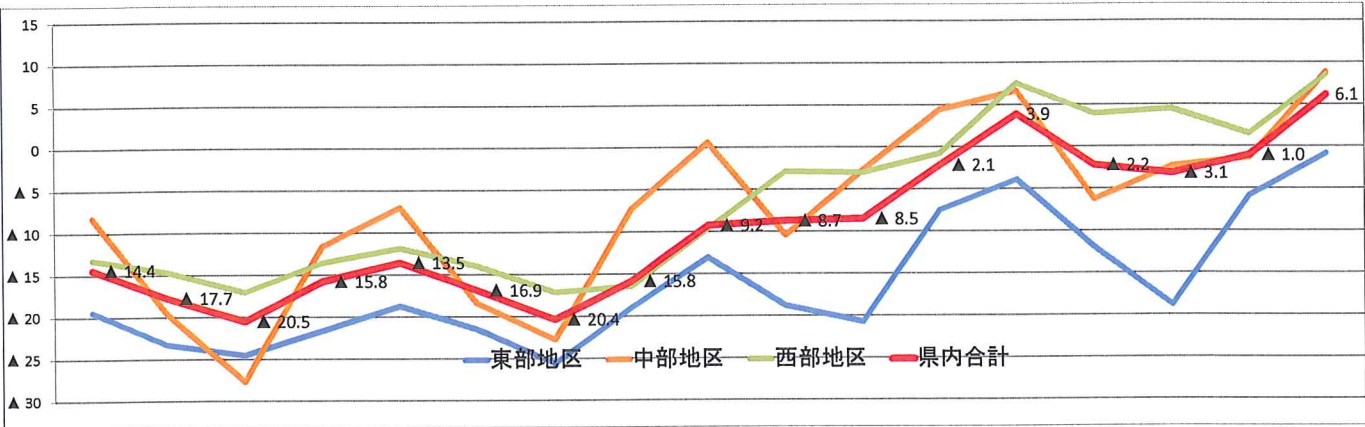
2. 業況予想(全業種)

	2019年1月~3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	1.4%	17.8%	51.8%	23.4%	5.6%	▲ 9.7
中部地区	5.2%	21.0%	53.4%	15.7%	4.6%	5.9
西部地区	2.6%	21.0%	55.4%	18.7%	2.3%	2.6
県内合計	2.9%	20.2%	54.0%	19.3%	3.7%	0.1

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2014年 10~12月期	2015年 1~3月期	2015年 4~6月期	2015年 7~9月期	2015年 10~12月期	2016年 1~3月期	2016年 4~6月期	2016年 7~9月期	2016年 10~12月期	2017年 1~3月期	2017年 4~6月期	2017年 7~9月期	2017年 10~12月期	2018年 1~3月期	2018年 4~6月期	2018年 7~9月期	2018年 10~12月期
東部地区	▲ 19.4	▲ 23.3	▲ 24.5	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0	▲ 18.8	▲ 20.7	▲ 7.5	▲ 3.9	▲ 12.0	▲ 18.8	▲ 5.8	▲ 0.8
中部地区	▲ 8.2	▲ 19.6	▲ 27.7	▲ 11.6	▲ 7.0	▲ 18.4	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲ 10.4	▲ 2.7	4.4	6.7	▲ 6.3	▲ 2.3	▲ 1.3	8.9
西部地区	▲ 13.2	▲ 14.7	▲ 17.0	▲ 13.6	▲ 11.8	▲ 14.0	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.8	7.5	3.9	4.5	1.5	8.6
県内合計	▲ 14.4	▲ 17.7	▲ 20.5	▲ 15.8	▲ 13.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 2.1	3.9	▲ 2.2	▲ 3.1	▲ 1.0	6.1

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2
・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2018年10～12月期)						前回調査(2018年7～9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	6.7%	26.9%	53.8%	8.7%	3.8%	21.2	4.9%	28.4%	49.0%	15.7%	2.0%	15.7
卸売業	3.2%	16.1%	48.4%	29.0%	3.2%	▲ 12.9	0.0%	19.4%	45.2%	35.5%	0.0%	▲ 16.1
小売業	2.4%	20.2%	40.5%	28.6%	8.3%	▲ 14.3	1.2%	13.1%	41.7%	29.8%	14.3%	▲ 29.8
サービス業	1.9%	18.5%	44.4%	25.9%	9.3%	▲ 14.8	3.7%	24.1%	37.0%	25.9%	9.3%	▲ 7.4
建設業	1.8%	19.3%	56.1%	21.1%	1.8%	▲ 1.8	5.3%	17.5%	49.1%	22.8%	5.3%	▲ 5.3
不動産業	0.0%	25.8%	48.4%	25.8%	0.0%	0.0	6.3%	25.0%	37.5%	31.3%	0.0%	0.0
全業種	3.3%	21.9%	48.8%	21.1%	5.0%	▲ 0.8	3.6%	21.4%	44.2%	24.7%	6.1%	▲ 5.8

2. 中部地区

	今回調査(2018年10～12月期)						前回調査(2018年7～9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	6.8%	30.1%	46.6%	11.0%	5.5%	20.5	9.9%	22.5%	38.0%	26.8%	2.8%	2.8
卸売業	4.2%	25.0%	47.9%	18.8%	4.2%	6.3	2.1%	12.5%	54.2%	22.9%	8.3%	▲ 16.7
小売業	3.9%	15.7%	45.1%	31.4%	3.9%	▲ 15.7	4.0%	8.0%	50.0%	28.0%	10.0%	▲ 26.0
サービス業	6.8%	13.6%	52.3%	18.2%	9.1%	▲ 6.8	2.3%	22.7%	52.3%	11.4%	11.4%	2.3
建設業	6.5%	37.0%	45.7%	8.7%	2.2%	32.6	6.4%	34.0%	40.4%	14.9%	4.3%	21.3
不動産業	11.6%	9.3%	69.8%	9.3%	0.0%	11.6	14.3%	7.1%	66.7%	9.5%	2.4%	9.5
全業種	6.6%	22.6%	50.5%	16.1%	4.3%	8.9	6.6%	18.2%	49.0%	19.9%	6.3%	▲ 1.3

3. 西部地区

	今回調査(2018年10～12月期)						前回調査(2018年7～9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	6.3%	25.4%	49.7%	15.4%	3.1%	13.1	4.5%	22.4%	50.7%	18.7%	3.7%	4.5
卸売業	2.4%	27.4%	40.5%	25.0%	4.8%	0.0	1.1%	19.3%	47.7%	21.6%	10.2%	▲ 11.4
小売業	2.4%	19.3%	48.2%	24.1%	6.0%	▲ 8.4	7.2%	16.9%	44.6%	28.9%	2.4%	▲ 7.2
サービス業	0.0%	14.9%	74.5%	8.5%	2.1%	4.3	2.0%	22.4%	59.2%	14.3%	2.0%	8.2
建設業	2.4%	28.0%	52.4%	14.6%	2.4%	13.4	1.2%	21.7%	57.8%	18.1%	1.2%	3.6
不動産業	5.5%	18.2%	67.3%	7.3%	1.8%	14.5	7.1%	16.1%	60.7%	14.3%	1.8%	7.1
全業種	4.4%	24.0%	51.8%	16.4%	3.4%	8.6	4.1%	20.8%	51.8%	19.5%	3.8%	1.5

4. 県内合計

	今回調査(2018年10～12月期)						前回調査(2018年7～9月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI		やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	6.5%	26.4%	50.1%	13.5%	3.6%	15.7	5.3%	23.6%	48.7%	19.2%	3.2%	6.5
卸売業	3.1%	24.5%	44.2%	23.9%	4.3%	▲ 0.6	1.2%	17.4%	49.1%	24.6%	7.8%	▲ 13.8
小売業	2.8%	18.8%	44.5%	27.5%	6.4%	▲ 12.4	4.1%	13.4%	44.7%	29.0%	8.8%	▲ 20.3
サービス業	2.8%	15.9%	56.6%	17.9%	6.9%	▲ 6.2	2.7%	23.1%	49.0%	17.7%	7.5%	0.7
建設業	3.2%	27.6%	51.9%	15.1%	2.2%	13.5	3.7%	23.5%	50.8%	18.7%	3.2%	5.3
不動産業	6.2%	17.1%	63.6%	12.4%	0.8%	10.1	9.2%	15.4%	56.9%	16.9%	1.5%	6.2
全業種	4.6%	23.1%	50.7%	17.6%	4.0%	6.1	4.5%	20.4%	49.2%	21.0%	4.9%	▲ 1.0

資料 3
・業種別予想

1. 東部地区

	2019年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.0%	23.5%	52.9%	18.6%	2.9%	3.9
卸売業	3.2%	16.1%	41.9%	35.5%	3.2%	▲ 19.4
小売業	0.0%	14.3%	45.2%	28.6%	11.9%	▲ 26.2
サービス業	1.9%	7.4%	53.7%	27.8%	9.3%	▲ 27.8
建設業	1.8%	17.5%	63.2%	15.8%	1.8%	1.8
不動産業	0.0%	29.0%	51.6%	19.4%	0.0%	9.7
全業種	1.4%	17.8%	51.8%	23.4%	5.6%	▲ 9.7

2. 中部地区

	2019年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	9.6%	23.3%	46.6%	16.4%	4.1%	12.3
卸売業	6.3%	12.5%	60.4%	14.6%	6.3%	▲ 2.1
小売業	3.9%	7.8%	64.7%	15.7%	7.8%	▲ 11.8
サービス業	0.0%	22.7%	50.0%	18.2%	9.1%	▲ 4.5
建設業	4.3%	34.8%	47.8%	13.0%	0.0%	26.1
不動産業	4.7%	25.6%	53.5%	16.3%	0.0%	14.0
全業種	5.2%	21.0%	53.4%	15.7%	4.6%	5.9

3. 西部地区

	2019年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.7%	21.4%	54.3%	18.6%	2.0%	4.6
卸売業	0.0%	21.4%	53.6%	22.6%	2.4%	▲ 3.6
小売業	1.2%	15.7%	53.0%	24.1%	6.0%	▲ 13.3
サービス業	0.0%	23.4%	55.3%	21.3%	0.0%	2.1
建設業	2.4%	26.8%	56.1%	12.2%	2.4%	14.6
不動産業	3.7%	14.8%	68.5%	13.0%	0.0%	5.6
全業種	2.6%	21.0%	55.4%	18.7%	2.3%	2.6

4. 県内合計

	2019年1月～3月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.2%	22.1%	53.0%	18.3%	2.5%	5.5
卸売業	2.5%	17.8%	53.4%	22.7%	3.7%	▲ 6.1
小売業	1.4%	13.3%	52.8%	23.9%	8.7%	▲ 17.9
サービス業	0.7%	17.2%	53.1%	22.8%	6.2%	▲ 11.0
建設業	2.7%	25.9%	56.2%	13.5%	1.6%	13.5
不動産業	3.1%	21.9%	59.4%	15.6%	0.0%	9.4
全業種	2.9%	20.2%	54.0%	19.3%	3.7%	0.1